

平成28年度 相生市内在学の児童・生徒による人権作品の紹介

★人権ポスターの部 特選受賞者と作品



若狭野小1年 三木夢太郎



双葉小2年 赤松来桃



中央小3年 田崎菜々美



双葉小4年 高尾とわ



青葉台小4年 井上ここな



中央小5年 青木櫻子



相生小6年 小寺詩恩



若狭野小6年 岡野菜乃花



那波小6年 小坂希咲



矢野川中1年 西脇未空



矢野小6年 小林光晴



双葉中1年 上野穂香



那波中2年 牧尾綺華



双葉中2年 平方優希



那波中3年 鷹金大聖



那波中3年 大角萌



双葉中3年 宮崎詩織

★人権作文の部 特選受賞者と作品

人のいのち

双葉小学校 二年 矢倉 佳治

この前、ぼくはテレビでたくさんの方がおそわれてなくなるといふニュースを見ました。山ゆり園というしせつでたくさんの方のしょうがいのある人たちがケガをしたりしんでしまったりしたというニュースでした。そのニュースを見てぼくは、とてもさんねんな気持ちになりました。なぜかというとなにもわるいことをしていないよい人が、かってな考えの人にきずつけられたからです。どうしてそんなかなしいことをしたのかなと思いました。

ぼくのいえでは、金魚ばちの中でメダカを二ひきかっています。二ひきは、とてもなかよしです。大きさはぜんぜんちがいます。大きなメダカと小さなメダカです。二ひきは、いっしょになかよくおよいでいます。しゃべれないのにどうやってよくそくしているのか不思議です。大きなメダカが小さなメダカをおいかけていじわるをしたりはしません。ぼくのいえのメダカは、よいものいじめをしません。ぼくがえさをあげようと近づくとすごいいきおいでにげます。えさをあげてもすぐにたべません。ぼくがいなくなったら上におよいできてたべています。メダカは人間がこわいのかなあ、ぼくのことこわいのかなあ、と考えていると、

「なれてくると、えさをあげようとしたらメダカのほうからよってくるんだよ。」

とおじいちゃんが教えてくれました。いつかメダカがぼくのところにやってきて、なかよくなれたらとってもうれしいです。

ぼくは、みんなにつたえたいことがあります。

「ぼくのいえのメダカみたいに人間もよい人とつよい人が

なかよくできたらいいのになあ。つよい力とよい力があわされば、みんなおんなじ力になるのになあ。たのしくてえがおがいっぱいのせかいになるよ。みんながニコニコのえがおいっぱいだとおこっている人もつられてニコニコえがおになるんだよ。」

インターネットのトラブル

那波中学校 三年 森本 晴子

最近、インターネットでのSNSのトラブルが増えているという話をテレビや新聞などでよく見ます。なぜインターネットでトラブルが起きてしまうのか、これからどう使っていくべきなのかを考えていきたいと思っています。

トラブルが起る原因は、相手の顔が見えないということにあると思います。この前テレビでSNSでのいじめを再現している番組を見ました。いじめにあった子はいじめられっ子で周りの子からよく暴言を吐かれたりしていたそうです。でも、いつもニコニコ笑っているからおさまらず、やがてSNSでの暴言が悪化していき、不登校になってしまったという話でした。私は本当に悲しい話だと思いました。もちろん暴言を吐くことは絶対にいけないことです。でも、SNSで暴言を吐いた子は、きつと言われていつも笑っている表情を想像してたくさん言ってしまったんだろかなと思いました。顔の表情を見て心情を読みとることもできないことだってあるのに、顔を見られなかったらもっと相手の気持ちを理解するのは難しいと思います。だからSNSはトラブルが起きてしまうんだと思います。

また、知らない男性によって子どもがトラブルに巻き込ま

れるという話もよく聞きます。SNSで知らない人と知り合う時、相手は誰なのか、どこに住んでるのか、歳はいくつなのかはわかりません。もし教えてくれたとしても、それが本当に正しいのかを断定することはできません。私の友だちにも会ったことがない人と仲良くしたり、交際したりしている人がいます。例えば相手の人が中学生と言っても中年の男性かもしれません。その時もしも自分の個人情報や写真を送ると悪用されてしまいます。そうしてトラブルに巻き込まれてしまうという結果になります。インターネットを使う時に大事なことは、予想することだと思っています。これを送っても大丈夫なのかとか犯罪に巻き込まれないかとかをしっかりと考えて、どうなるのか予想していく必要があると思います。インターネットはとても便利なものですが一歩間違えると取り返しのつかないことになってしまいます。また、履歴は決して消えることにはないので一生心の傷をかかえることになるかもしれません。これは気がついていても手遅れになるのでトラブルになる前にそういうシステムをあらかじめ知っておいて、一人一人が責任と自覚を持ってインターネットを使用していかなければならないと思います。

私もスマホを持っていて、いつトラブルに巻き込まれるかはわかりません。でも人を傷つけないし、一生傷を負って生活していくのも嫌なのでよく考えて使用していきたいと思っています。そして、こうしたトラブルが世の中から減っていき、みんなが安心してインターネットを使うことができるようになったらいいなと思いました。



ふれ愛コンサート

日時 12月3日(土)

14:20~15:50

場所 扶桑電通なぎさホール
(大ホール) 入場無料

出演 エスペランサさん
(アーティスト)

演題 「愛と言う名の奇跡！
難病・ひきこもりを乗り越えて光のステージへ」

※相生市PTA連絡協議会実践発表会の第2部

※「ふれ愛コンサート」のみの参加も可能です。



小学校

特選受賞者

学 校	学 年	氏 名	作 品 名
矢 野	1	光 葉 愛 生	おもいやりのきもち
双 葉	2	矢 倉 佳 治	人のいのち
若狭野	3	保 手 濱 元 基	二度のこっせつで
相 生	4	三 徳 愛 唯	伝わるもの・伝わらないもの
青葉台	5	中 峯 清 遥	当たり前がきせき
相 生	6	松 浦 萌	知ろうとする事 きちんと伝える事

中学校・高等学校

学 校	学 年	氏 名	作 品 名
那 波	1	坪 本 崇 伸	僕の心を変えた おばあさんの思い
矢野川	1	森 岡 凜	想像する心は 思いやる心
那 波	2	疋 田 紋 菜	つなぐあいさつ
那 波	3	森 本 晴 子	インターネットのトラブル
相生産高(全)	1	陰 山 亜 美	もしもを考えて
相生高	2	松 浦 菜 奈	隔たりのない世の中へ
相生産高(定)	2	杉 元 七 巴	友人とわたし

★人権標語の部 入選受賞者と作品

やめよういじめ	ひとりのひとりで	未来が変わる
ありがとう ごめんね	だいじょうぶ	その一言で 世界は変わる
君の心	ぼくの心	みんなの心
すべて宝物		
じぶんがされていやなこと	あの子もきつと同じだよ	
きみの声	ぼくに聞こえたよ	すぐ行くよ
つながよう	光り輝く	笑顔のバトン
だいじょうぶ	言える勇気と	言えるやさしさ
誓い合おう	いじめのない	平和な世界を
比べるな!	みんな違ってあたりまえ	みんな同じじゃつまらない
一歩先	見つめるだけで	言葉が変わる
いっしょにやろう	その言葉で生まれる笑顔	
まずはぼく	みんなで広げよう	思いやりの心
自分らしい	個性こそが	たからもの

相生小	5年	濱田	莉子
那波小	5年	前田	歩加
双葉小	5年	平野	響我
若狭野小	5年	栗原	ゆう
矢野小	5年	山本	壮太
青葉台小	5年	青木	彩葉
中央小	5年	澄田	芽依
相生小	6年	田中	逸人
双葉小	6年	志水	壮駿
若狭野小	6年	竹田	朱理
矢野小	6年	松本	育子
青葉台小	6年	本城	麟
中央小	6年	崎山	桃香

踏み出そう	少しの勇気で	明るい未来
ダメだって	ほんとの君は	気づいてる
広げよう	笑顔あふれる	毎日を
見上げれば	仲間の笑顔が	花開く
認め合おう!	違う個性の	すばらしさ
私がもらった優しさを	こんどはあなたにプレゼント	
メールより	目を見て一言	ごめんなさい
差し出した	その手が心を	ひらく力ギ
その言葉	書き込む前に考えよう	
その言葉	相手の目を見て	言えますか?
見落とすな	心の叫び	見えぬ傷
広げようやさしい心	考えよう人の気持ち	伝えよう感謝の言葉
いじめの輪	あなたの勇気で	平和の輪
広げよう	心のサイズ	エルエルに
考えず	口に出すのは	暴力だ

那波中	1年	川下	茉優
双葉中	1年	蒲田	遥
矢野川中	1年	峰安	陸斗
那波中	2年	宮崎	小雪
双葉中	2年	霜門	日向
矢野川中	2年	山本	乃々栞
那波中	3年	岡田	侑子
双葉中	3年	中村	千歳
矢野川中	3年	遠藤	七海
相生高	1年	石原	美優
相生産高全	1年	福田	真平
相生高	2年	矢内	翔太
相生産高定	2年	下井	和
相生産高全	3年	増田	莉子
相生産高定	4年	春名	暁